

議 事 録

会議名	令和元年度寒川町社会教育委員会議第1回公民館部会		
開催日時	令和元年5月23日（木）午後1時25分～午後3時30分		
開催場所	寒川町民センター1階会議室		
出席者名、 欠席者名及び 傍聴者数	出席者：三澤委員（部会長） 加藤委員（副部会長） 河村委員 平本委員 山口委員 事務局：長岡教育総務課長 小林教育総務課主査 山口教育総務課主査 指定管理者：別府町民センター館長 佐々木町民センター副館長 堂前北部公民館副館長 渡辺南部公民館副館長 傍聴者：2人		
議 題	報告事項 (1)平成30年度公民館事業報告について (2)令和元年度公民館事業計画について 協議事項 (1)モニタリング評価外部モニターの選出について (2)審議テーマ「すべての世代がつどう公民館を目指して～公民館活動へ導く情報発信・PR方法について」		
決定事項			
公開又は 非公開の別	公 開	非公開の場合その 理由（一部非公開 の場合を含む）	
議事の経過	<p>1. 開会</p> <p>2. 議事録承認委員の指名について 事務局より各回名簿順に2名ずつお願いすることを提案。 一同了承。今回は、三澤部会長、平本委員に依頼。</p> <p>3. 報告事項 (1)平成30年度公民館事業報告について（資料2-1、2-2） ・指定管理者から資料2-1、2-2説明 &lt;意見、質問等なし&gt;</p> <p>(2)平成30年度公民館事業計画について（資料3） ・指定管理者から資料3説明</p> <p>【部会長】説明が終わりました。ただいまの説明に対しましてご意見、ご質問がございましたらお願いします。</p> <p>【委員】質問いいですか。昨年度の事業実績と絡めてですが、昨年度は事業を計画していて、中止になった事業があったかどうか。今年度もたとえば参加人数が1名2名になってしまって、止めることがあるのかどうかをお聞きしたいです。</p> <p>【指定管理者】昨年度から今年度で中止にしたものがあるかどうかということですか。</p> <p>【委員】昨年度、計画していて結局中止にしたものがあったかどうか。実績は昨年度に計画したもの全部載っていますか。</p>		

【指定管理者】載っています。人数が集まらなくて止めた事業というものは基本的にありません。

【委員】今年度は例えば参加人数が15人中2、3人しか集まらなくても実施するということですか。どういう基本になりますか。

【指定管理者】もう少し人数を集めて、2人でもエントリーされて、聞いていただける環境があれば中止にはしません。

【委員】中止にはしないということですね。生涯学習推進員の立場として見学することは可能でしょうか。

【指定管理者】まったく問題ありません。興味のあるものはぜひお越しください。

【委員】どのような雰囲気で行っているのか知りたいと思うので。それは前もって連絡すればいいですか。

【指定管理者】当日でも構いません。

【委員】では見学させてください。ありがとうございます。

【部会長】ほかにございますか。

【指定管理者】すみません、補足させていただきたいのですが、今年度の事業計画の「地域住民のためのコンサート」で交響楽団を呼ぶという表現があったと思うのですが、残念ながら今年度は交響楽団ではございません。オペラのアリアで著名なものを集めた「恋の歌列伝」というサブタイトルで「オペラペラペラコンサート」という声楽のコンサートになります。

【委員】南部でお琴の演奏をやっていますよね。旭が丘中学校も邦楽部というのがあるのですが、できたら北部の方でもやられたらどうですか。北部の地域の人は子どもが旭が丘中学校に行きますよね。やはりお琴を聴いたことによって自分が中学に入ったらお琴を習いたい、部活に入りたいと思うと感ずるので。できれば北部でもやられたらどうですか。

【指定管理者】北部公民館では7月に子どもフェスティバルで毎年演奏しています。今年も同様です。

【委員】それでは北部でもやっているのですね。わかりました。

#### 4. 協議事項

(1) モニタリング評価外部モニターの選出について(資料4・5)

- ・事務局から資料4によりモニタリング評価の概要説明

【部会長】ではこのことについて、ご質問ございますか。

<質問等なし>

【部会長】それでは、外部モニターの選出に入ります。まず立候補、やりたいという方はいらっしゃいますか。

【事務局】平成29年度から始まりまして、昨年度は山口委員にお受けいただきました。

29年度はその前の社会教育委員の杉山委員になっていただきまして、なおかつ行政関係者ではない方がよいため、河村校長先生も除外して考えていただきたいです。

年2回ありまして、書類の準備は指定管理者と事務局で用意して、モニターからご意見をいただき、点検評価シートを作って頂くこととなります。現地調査などお時間かかるところはございますが。

【委員】私はまちづくりの方で指定管理のことをやっているのですが。

【事務局】他の審議会でかかわっていただいているということですね。

【委員】加藤さん、いかがですか。

【副部長】難しそうですね。

【事務局】山口委員に昨年受けていただいて、どうでしたか。

【委員】それほど難しいことはないですけど、感想を書く部分が悩みましたね。欄の中にまとめることが。でも、思ったことを書けばいいです。

【副部長】かかる日数は1日で終わらないですよ。

【事務局】半日です。時間的には午後になります。モニターがお一人なのでご都合の日時に合わせます。評価については、昨年度のものを参考に見ることや、口頭でご意見いただいたことを文章化するお手伝いは事務局でもいたします。

【副部長】まったく見当がつかなくて。どういう段取りでどういう行動をするのか。どうすればいいのかわからないです。

【事務局】段取りとしては、事務局で見ていただく書類をそろえて、当日それを見ながらご意見をいただく形です。

【副部長】実際に見て回ることはありますか。

【事務局】当日来ていただいて、出勤簿といった書類や財務の関係ですとか、項目いろいろありますが、それに従い資料を見ていただきます。それで評価をしていただき、必要とあれば、現地を見に行きますが、それはモニターの方次第かと思います。基本的には書類を見て評価してもらうことが中心となります。

【指定管理者】資料については、当日こちらから調査票に基づきご説明いたします。そういった上でご質問をお願いする流れになるかと思います。

【副部長】やってみます。

【部長】それでは、加藤副部長にお願いいたします。

(2) 審議テーマ「すべての世代がつどう公民館をめざして～公民館活動へ導く情報発信・PR方法について」(資料5・6、参考資料)

・事務局から資料5・6、参考資料により説明

【部長】ただいまの説明についてご意見がございましたらお願いします。

【委員】質問ですが、私は北部公民館の生涯学習推進員をやっていますが、資料5の講座を知ったメディア（媒体）の知人等の紹介について、11人という「さむかわを知らう講座」、次の41人の「古典芸能講座」、26人の「クリスマスピアノコンサート」は、生涯学習推進員で声かけをして、ぜひ来てくださいということで、「知人等の紹介」が多いと思います。それ以外の人数の多い講座で、南部や町民センターはどのような形でこの知人等の紹介が多かったのかわかりますか。

【指定管理者】南部は同じです。推進事業なので、推進員の声かけが多いです。

【委員】わかりました。もう一点、特に突出している「歴史講座」はポスター・チラシで33という何かインパクトのあるポスターだとか、町の広報の掲示板に貼るような形のポスター・チラシだったのでしょゆか。また、どこかで配るなど特別なことをしたのですか。ほかにも「さむかわ名画座」とか、センターはそういうのが多いので、ここに来る機会が多いから、そのポスターを見て何か誘われたというのものもあるのかどうかというのをお聞きしたいです。

【指定管理者】館内のポスターというよりも、おそらく町内の掲示板の効果がかなりあると思っています。掲示板は五十何カ所あり、あまり人が見ない場所もあるので、そういうところはちょっと省きますが、半分くらい、人通りのある所はなるべく貼るということで、館内よりも掲示板に貼る箇所の多さで露出を高めていると思います。ポスター自体のインパクトはそれほど変わらないと思いますので、多分、貼ってある枚数ではないかと。それにしても、この歴史講座の33はかなりヒット率が高いなと思いました。

【委員】ほかのところでもきちんとポスター・チラシをやっているところはどうか。

【指定管理者】そうですね。これがなぜ高かったかまでの分析はできていなくて申し訳ございません。

【委員】感覚的にあまり、歴史講座というとかた苦しくて来ないのではと思うのですが、興味がある人はやっぱりいるということですか。

【事務局】私は文化財の担当ですが、歴史関係は一定数やはりファンの方がいらっしゃいます。

【指定管理者】それはあると思います。

【委員】基本的に、興味のある講座があれば来るといふ、それにちょうどうまくポスターを見て合致したというところがあったのでしょゆね。

【指定管理者】今の歴史の意見もそうですが、映画も同じです。映画もやはり見たいというのがあるので、定期的にあると、多分、ファンのベースがあるので、ポスターを目にすると足を運んでくれる可能性が高いのではないかと思います。

【事務局】私もこの資料を見て、歴史講座はやけにポスター・チラシで知った方が多いと思いました。複数回答をしているので、広報でも見たし、チラシももらった方も多いと思うのですが、おそらく歴史講座の場合ですと、例えば文書館での講座ですとか、文化財学習センターの講座のときに、このチラシが配られたのかなという気もします。同じようなやり方で、それに興味のある方に、別の講座がありますよとお渡しすると、その場で申し込んでいかれる方もよくいらっしゃるもので。

あと、ポスター・チラシの効果としては、公民館の講座は広報さむかわで知る方が多いですが、図書館の事業報告書を見ていますと、図書館の講座に参加される方は、館内

のポスターで知ったという人が結構多い。図書館に来られる方はいろいろと情報を集めに来るといふか、そういう積極的な方なので、同じような講座でも、広報で見たという方よりかは管内のポスター・チラシで見たと回答される方が多いようです。

**【委員】**そこは公民館にしろ、図書館にしろ、そこに行く人はやっぱり興味があるということですね、だから参加するというので。初めての方はどうするかというきっかけづくりが今回のテーマの部分もあるかと思いますがね。

広報さむかわでも、ほんとうにこんなと言っては失礼ですけども、30文字ぐらいでコンパクトにまとめて、それで呼び込むと。でも、来る方はいますからね。広報を見る方も、やっぱり何かあるんじゃないかと興味があるから見ていて、参加するということでもありますからね。ほんとうに全く初めて、公民館ってこんなことをやっているというのをもっと知らせるための、多分、今回の2年目になる目的、目標だと思うので、ちょっとお聞きしました。

**【部会長】**ほかにいかがですか。

**【委員】**全然違う話をしているですか。さきほどフェイスブックという話がありましたが、去年、この会で中高生がとにかく来ない、呼び寄せられないというところで、中高生が検索をかけたときにひっかかれば、こういう場所があると知ってもらえるとお話ししたことがありました。フェイスブックはどのような形式のものなのでしょうか。まだ見ていないからわからないのですが。

**【事務局】**つい今週開設したばかりでということ、フェイスブックページという、なかなか、やっていない方だとちょっとわかりにくいと思うのですが、講座情報だけでなく、例えば下の食堂の日替わりランチの情報ですとか、あとは日常のことを毎日、何かしらアップをしていこうという話を聞いております。

**【指定管理者】**ほんとうについ最近、稼働できるようになりました。1日1つの情報ぐらいいは新しいのを載せていこうということで事務所の担当の者とも話をしているのですが、事業のこともそうですけれども、レストランの情報とかも、館の中の何か小さなことでも来客に結びつくようなエピソードがあれば、数を掲載していこうと思っています。一応ホームページの下にもバナーがあって、そこにQRコードもつけて、そこからもアクセスできるように依頼をしていて、今週中には多分つけられると思います。

**【事務局】**そのQRコードを各公民館に設置して、皆さんのスマホで読み取って見ていただけるのではと考えております。フェイスブックは今回新たに始まったことなのですが、資料5で、去年6月30日の「地域を考える講座」というのは町民センターの講座ですが、申込を開始してから、ちょっと集客が厳しいときに、講師の方が、今度、寒川の町民センターでこういうことをやりますよとフェイスブックに書いていただいたら、それをきっかけに参加者の申し込みがあったそうです。これで「講座を知ったメディア」はホームページとかフェイスブックを使って5人、新たにそういうことで知って来たよということで、やはり使いこなしている人にとっては、地域情報を広報よりタイムリーに、あとは直接知り合いとかのお勧めとかがあると参加しやすいというのもあるのかなとは思っています。

**【委員】**今の事前にいただいた資料に、要するに口コミ的な評価が高ければそれを見て来ることからすると、その評価であったり、受講した人であったりが書き込めるような形の構造があったら、またひっかかるのかなと思ったことが一点。もう一つは、つくったフェイスブックに行くための道筋をつくってあげないと、例えばここ3カ月、このQRコードが出ているとか、あとは町からのメール配信の中にはたくさん書けないだろうから、公民館の情報はここにありますよというのを少し継続して載せるとか。

**【事務局】**そうですね。私も今週、開設してどうなりましたかと先ほど担当の方に聞いて、でき上がったページを見せていただきましたが、その道筋、どうやればそこにたどり着くのかというのがほんとうに重要なところでありますので、これからなるべくPRして、皆様に利用していただけるようにしなければと思います。公民館は特にインターネットで館の予約もしているの、インターネットを使っている方もそれなりにいらっしゃると思います。シニア層でもインターネットを結構活用されている方も多いので、どうかと、そのあたりの効果がどういうふうにあられるかなというところがありますが、むしろ、今まであまり利用の少ない勤労世代、働く世代ですとか、あと、青少年とかにもそのあたり、タイムリーな情報として受け入れていただければと思います。

**【委員】**小学生も特に小谷は遠いので少ないというのと、あと中高生がいないというので、学校側としては何かないかなと去年から、ずっと思っていました。以上です。

**【事務局】**ありがとうございます。

**【委員】**委員の皆さんにお聞きしたいのですが、寒川のホームページをスマホなどでちゃんと情報をとっていますか？

**【副部長】**とらないですね。

**【部長】**とらない。

**【委員】**私は寒川のホームページはいろいろな情報が入ってくるのでとっていますが、あと、フェイスブックも今、中途半端で入って、まだよくわからない。ちゃんとやればできるとは思いますが。だから、小・中学生とかそういう世代は、ホームページとかフェイスブックとか何かで発信できて、来ると思うのですが、もう一つのターゲット、さっきの60歳以上が対象ということで、その方々が果たしてフェイスブックとかホームページを見て、やるかという部分がちょっと疑問に思います。2通りの方法が考えられると思うので。

北部でも利用者の会などで部屋を予約するときにパソコンで予約しますよね。そんなところで二の足を踏んでいる部分もあるのかなと思っています。それは公民館に来てくださいという部分とはまた違いますけど。利用者が入らずに、空いているところがあつたら何か聞いてとるといようなこともお聞きしたのでね。

60歳以上、先ほどの話のように、リタイアしてから、さあどうしようと家にいる人たちを何とか入れ込もうということで、先ほどの北部公民館だよりも私も絡んでいて。何とか毎回来てもらって、ああ、なかなか公民館っていいなというところで、この講座、クラブを3回で立ち上げてみよう、籐手芸はとりあえず今のところ私が講師としてやるのですけれども、あと、ほかの講師も私が探してとかやっています。できたら私としては、60歳以上の方をまずは取り入れたいと思っています。聞いていると、70歳以上の方は何かずっと引き続き来ていますけれども、リタイアしてからという方々を取り込みたい。一番よかったのは、スポーツ吹き矢の体験講座、2回やって今年度は講座をなくしたのは、あまり人数が多過ぎるとやる回数が減ってしまうからで、あとは会に口コミで入ってくる分ならいいなと思っています。スポーツ吹き矢は案外若い方も入ってきたので、ちょっと活性化になっていると。あともう一つは、昨年も話をしましたが、ノルディックウォーキングを立ち上げて、細々とやっています。この前、公民館まつりで体験をやりました。集会室でノルディックとスポーツ吹き矢と、あとはスポーツチャンバラ。その中でスポーツ吹き矢は体験した1人が参加してみたいと一応入会したのですが、細々とそんな形で何かきっかけがあればということで体験も必要だと思いました。

**【事務局】**公民館に指定管理者が入ってから、この2年間ですが、推進員も含めて、何

か一体となって色々と試行されていることを多く聞くようになりました。この社会教育委員会でもこういうことをやってみよう、1人しか来なかった、でもサークル会員が増えたよと、今ここがそういう発表の場にもなっている。これこそがこの2年間の大きな成果かなと。今までは進歩とか進捗というのがあまり聞けませんでした。今はいろいろ、やってみてだめだった、やってみてよかったとかという話がいっぱい出てくるので、非常におもしろくなったという感じがしています。

このメディアについても、アナログもありだし、デジタルも必要というようなところで、全方位というか、対象を限定しないで、とにかくいろいろなのを打ってみよう、と、すごく今、令和の新しい時代だなんて感じました。

**【指定管理者】**北部公民館のクラブについて、他市町で高齢者大学をやっている公民館は多いですが、うちの3館ではそれがまだなかったところを、新しく北部で一番初めに立ち上げてくださったので、同じように南部や町民センターでも、やり方は変えたとしてもできるのではないかと思います。このようにトライアルとして、公民館に参加するきっかけとしては、趣味のものも含めて、防災みたいなものも含めているので、ありがたいと思っています。

**【委員】**先ほど話が出たように、計画をして、そうすると公民館の方々も一緒になってやっていただくのがやっぱり良いですね。それはちょっと難しいと言わずに、どんどん前へ進んで、私が考えている以上に拾っていただくので、それは公民館の体制としては非常にいいと思いました。私が推進員をやっていなければ、公民館に多分、足を運ばなかった部分はあると思います。だから、逆の立場になったので、ぜひ来てほしいと願っています。

**【事務局】**男性も参加しやすい講座が以前に比べてすごく増えたと思います。また、講座数も、やはり指定管理で5年間と長期で見ただけなので、町役場の職員が配属していた頃は異動があるので、4月に講座はなかなか実施しづらかったのもありますが、今は年間を通じてかなりの数の講座を運営していただいている。

その中で男性が参加しやすい講座も随分増えていると思っているのですが、いざ、男性側から見ると、公民館というと女性ばかりだし、自分で講座を申し込んで1人だったらどうしようというような不安もあるのかなというので、そのあたりで、例えば事業の報告で、このスポーツ吹き矢は男性も女性も同じぐらいの人数なので、男性も参加しやすいですよというようなアピールを何かで知ることができれば、では行ってみようという気にもなるのかなと。そういう情報が何かポスターやチラシでわかると、募集30人とか書いてあるよりも参加するきっかけにはなるのではと感じております。

**【委員】**当然、楽しい講座も必要だと思います。特に南部では料理講座が多くて、私も以前にそばづくりをやったので、そういった興味がある講座があれば、それをきっかけに公民館を知るきっかけにもなるので、興味のある講座をつくるということも大切な一つだと思います。

**【指定管理者】**町民センターは実習室がないので、料理講座ができないというのが、そこが一つ残念ではあります。

**【事務局】**あとは、もしリーフレットをつくるならば、全戸配布にするか、どういう形になるか、いろいろ作り方はあるかと思うのですが、例えば全戸配布にしますと、配布する時期はいつがいいのか、4月がいいのか、3月がいいのか、はたまた5月とか6月がいいのか、ちょうどいい時期というのが結構あるかと思います。たまたま先日、退職されたばかりの方と話をしていたときに、退職して、ちょっと仕事の重責から解放されたというのもあるけれども、このゴールデンウィークの10連休、やるのが何もなく、こんなに休みがなくともいい、とりあえず何かやったほうがいいなみたいな話を聞いて、退職されたばかりの方は3月、4月よりかはゴールデンウィーク明けぐらいの

ほうが、ゆっくり1カ月ぐらい休んだし、そろそろ何か始めたいと思う時期になるのかなど、雑談している中で感じました。

あとは、土・日の講座が大変多いので、ほんとうはもうちょっと勤労世代の方にも参加していただきたいと思うのですが、そのあたりは、日々忙しく、広報もなかなかじっくり読めないというところもあるとは思いますが、そうなると、例えば親子講座みたいなもので、そこを入り口にして、ほかの講座もどうですかみたいな感じで、親子ですとか、お父さんとか、そのあたりでそこを入り口にして広げていけるかなというふうに感じております。

**【委員】**年1回のリーフレットは例えば南部、北部、センターの、公民館はこんなところですか、講座をやっていて、参加者のコメントを入れて、楽しいところというようなものを載せて。これは私、昨年度は3月あたりのリタイアする前とっていたのですが、今、話を聞いていると、ひと月ぐらいちよっとぼーっとして、ああ、これじゃまずいということで、5月頃に広報と一緒にリーフレットを挟んで入れてほしいです。

それ以外に思ったのは、公民館にいろいろな、例えば北部でしたら古典芸能とかクリスマスコンサートのときに、アンケートと一緒に公民館でこんなことをやっていますというものを渡してPRするのも一つと思っています。

今回のクラブ形式も今年度9月からですが、口コミを含めて渡してどのような結果になるかやってみたいとは考えている最中です。その都度ね。例えば、半年ぐらいのこういう大まかな講座が、楽しいのがあるからと。これは中高年というか、リタイアされた方々への内容のものでもいいと思うのですけどね。

**【事務局】**ターゲットは絞ったほうが明確になります。仲間づくりでもそうですし。

**【委員】**そうですね。

**【事務局】**北部でそういうパイロット的なことをやって、例えば、クラブ公民館北部チームができて、南部チーム、センターチームができれば、そのチーム同士でまた何か発表事ができればおもしろいですね。

**【委員】**そうですね。それで輪が広がってくればと思いますが、何分にも初めてなので、参加者がいるかどうかを含めて少し心配な部分があります。でも、篆刻をやりたいという声があったので、ではこれをきっかけに来てくれればいいかなど。それだけじゃまずいので、これも一緒にしてちょっと輪を広げればと、このクラブを考え始めました。

**【委員】**前々回だったかしら、リタイアした人を対象に何かやりましょうということ言って、やりましたよね。あのときは企画的にどうでしたか。私は参加しなかったのですが、最初、男の人を対象にしようと言っていたら、女の人も入れたらどうかということで。ほとんど夜、実行委員会みたいのをやっていたもので、私は夜なので出られなかったのですが、14、5名ぐらいいましたか？

**【事務局】**2代前ぐらいの社会教育委員の提言の中にありました。

**【委員】**ありましたよね。

**【事務局】**町内で定年退職を迎えられた方で、まだパワーをお持ちの方がいるので、そういう力を地域づくりだとか、そういう活動に結びつけるような行事、事業をやってはどうかということで、それで実行委員会形式で有志を募って、地域にはこういう皆さんの活躍する場所があります、こういうことができればおもしろいのでは、実際にはこういうことをやっている人がいますというのを紹介する3回講座でした。結果的には参加者のアンケートで、もっと具体的な活動や団体を紹介してくれるものだと思っていたような意見がありました。要するに風呂敷を広げて、この中から選んでみましよう



いうところが、そのときはそれがよかれと思ったんですね。何を求めているかまだわからないから、とにかくいろいろなものがあることを見せようと、3回でプレゼンみたいな形でお示しましたが、結局はどれに入っているのかが自分で選択できず終わったというところがありました。今度の北部の取り組みはこういう講座を用意して、それで実際にやってもらうところが一歩進んだ感じがします。

【委員】中身があまりかた過ぎると、やっぱり行ってもわからないとは思いますが。それなので、今後のクラブのように、何かちょっと絞り込んでいろいろなことをやっていただけると人数が集まるのでは。

【事務局】今、生涯学習推進員として各公民館で活動している方たちも、当時、その実行委員会に入っていた方がいるので、やっぱり経験として推進員活動でもそれを生かして、いろいろな企画をしてもらっているのではと思います。でも、実際に3名ぐらいは既存のそういう活動サークルに入ったということは聞きました。

【委員】そうですか。

【事務局】奉仕団のような各種団体が出てきて、私たちはこんなことをやっています、皆さん入りませんか、というようなプレゼンをやった日もありました。何か永遠のテーマだという感じがします。でも、そこで人が集まってくれば、すごい力になりますよね。

【部会長】なかなか難しいですね。

【委員】ちょっと話がそれるかもしれませんが、人材バンクみたいなものはありますか。こういう力を持っている人がいるとか、私はこういうものがあるから、何かやってみたいというような申し出みたいな。

【事務局】町の生涯学習人材登録というのがあります。ただし、登録してくださる方はいるのですが、活用のお声がなかなかかからないというのが実情です。

【委員】そういう方々を利用して講座をつくれば、その人たちの仲間がまた周りに来て増えるのではないかと思います、どうでしょうか。

【事務局】さきほどの町民センターの「めだかの飼育講座」は、持ち込み企画を採用して講座にしたものです。新たな参加者を得たということを考えると、確かにそういう方を講師にして講座をやってサークルになるというのは、とてもいい流れではあります。私は以前、生涯学習人材登録の担当をしていましたが、登録してもまったくお声がかからないから登録更新はやめますという状況もありました。

【委員】いろいろな力を持っている方がいらっしゃいますのでね。

【指定管理者】北部公民館では町のボランティアセンターに相談していたのですが、そこで寒川高校の科学部を紹介してくれました。そういうつながりを利用すれば、答えがない場合もありますが、ある程度登録されているようです。ただ、残念なことにネット上で見ることはできないので、ボランティアセンターに電話で教えてもらっています。

【委員】個人情報もありますね。

【指定管理者】ボランティアセンターで事前にどういう人がいる等が出してあれば聞きやすいのですが。

【委員】以前そういう一覧表か何かありませんでしたか。どこかに置いてあるのではな

くて、みんなに配られたと思います。私も持っていたような気がしたのですけど。

【副会長】ありますね。そんなに古い話じゃないと思います。

【委員】簡単なパンフレットみたいな。講師で謝礼は幾らとか、無料とか、何かそんなようなのが書いてあって。

【事務局】生涯学習人材登録のパンフレットはありますね。個人名までは出てないのですが、こういうことができ、何時間ぐらいで、謝礼が有償、無償みたいな形になっております。

【委員】そうですね。

【委員】そういうところから声をかけて、輪が広がるし、あとはこちらで興味のある講座を考えても、講師の方がいないと思ってお聞きしました。そういうのがあれば、何かもっと広がって、公民館に来てくれて、おもしろい講座をつくれば、きっかけになるのかなという部分もちょっとあったので。

【指定管理者】文学講座を去年実施しましたが、それは寒川の人材バンクではなく、神奈川県「PLANE Tかながわ」という人材バンクで検索して、講師を依頼しました。そういう手は一つあると。

【事務局】社会教育のいいところは、教えられる側と教える側が学校と違っていつも固定ではないところだと思います。先生として公民館に呼ばれて、あるいは演奏者として、中学生が部活のブラバンなどで公民館に呼ばれていった時に、そこで初めて公民館に来た、初めて先生役をやったけれども、公民館はこんなことをやっているとか、チラシやポスターを見て、今度利用者として来るきっかけにもなります。やっぱり地域の人たちを、生徒が演奏で来てもらうとか、講師としてお話に来てもらうとかというのは、その方が今度は受講生とか利用者になってくれることもあって、社会教育の一番のいいところだと思います。別に教員資格がなくても、人前で演奏して、あるいは楽器の使い方を教えたり、いろいろな話ができ、片や今度は受講者側に回ってくると、そういうことに力を入れてもいいのかなという感じがします。

【事務局】私も、南部公民館の寒川中学校の吹奏楽部の体験講座は良いと思います。なかなか小学校と中学校が直接交流するとなると、全部の部活を紹介しないと不公平というような話になるかと思うのですが、公民館講座のような社会教育講座であれば、一つの部活をピックアップして、特に吹奏楽部、中学校にとっても部員が少なく、新たな興味を持ってくれる子どもが広がればというようなこともあるかと思います。ちょうど学区での公民館で中学生のお兄さん、お姉さんから小学校5、6年生の子がレクチャーを受けるというのも結構おもしろい試みだと思いました。

【委員】北部公民館で今年3年目になりますが、応援コンサートというのをやっています。地元のいろいろな音楽をやっている人たちを招いてのコンサートで、そこに来てもらうお客さんたちがいるという形で、先ほど課長さんが話をされたような形だと思います。あと、そこに旭が丘中学校の吹奏楽部の生徒も後半、最後に呼んで、まさしく今の話されたような形だと思います。そこで何かちょっと楽器をさわらせるようなこともあると、なおさらね。あと、子どもフェスティバルではお琴もあったので、何かさわらせてもいいのかなと思っています。

【事務局】小学生が、実際に琴の弦を触って音が出たら感動しますよね。

【委員】それが何かいいイメージで次のきっかけにね。ああ、公民館ではこんなことが

できるだと。聞くだけでなくてね。そういうのは参考になりました。

**【事務局】**「知ったメディア（媒体）」で、まさに「知人等の紹介」とか口コミというところですよ、それが。

**【指定管理者】**ひとつPRさせていただきたいのですが、先ほどの新規事業で漏れているものがありました。新聞ちぎり絵教室を急遽加えることになりまして、8月24日にやる予定です。これは今の話とも関連があるのですが、公民館まつりで体験コーナーというのがありまして、先ほど山口委員が話されていたのは体を動かす体育系でしたが、手作業のほうで折り紙と新聞ちぎり絵をやっていましたが、そのときに好評だったんですね。そのつながりで新聞ちぎり絵のサークルからの申し入れで講座をやってくれないかという話がありまして、今回新しく講座をやることになりました。すみません。最近決定しましたので。

**【指定管理者】**まだ新規事業でこれからまだ増えてくる可能性がありますので、それだけお含みおきをいただければと思います。

**【副部長】**今のはとてもいいですよ。もともとサークルがあって、そこからの声かけで講座をとというのは、公民館のサークルづくりのきっかけをつくるということで生涯学習では動いているわけですから、一番いいパターンですね。私も今いろいろ聞いていて、サークルへ持っていくのが目的、もちろん公民館に足を運ぶ、全年齢が運ぶというのが一番ですけども、いずれはサークルに持っていくのか、いろいろな講座をやりながら、消えていく講座もたくさんあるけれども、当たれば何とかじゃないですが、幾つかの講座が残れば、講座イコールそれがサークルに結びついていくのがいいのか。前に山口さんと一緒に推進会議のほうをやらせていただいたときに、公民館だけに限らず、いろいろな講座が年間でありましたよね。あまりにも講座がたくさんあって、年間で少し削りましょう、むやみに講座ばかりたくさんやってもいいものかどうかと、そういうのもちょっと今、感じました。もちろんきっかけづくりとして、たくさんやらないとできないということはよくわかるのですが。

**【委員】**今回、クラブ形式の講座というのは選択2つと必須1つということで、とりあえず選択2つをやって、これ、おもしろいということになれば、その中で例えば籐手芸はいろいろなバリエーションのものがつくれますので、講座になっても構わないと思っています。または集まった方々と雑談形式で今度は別な講座をやってみたいということも考えられるんじゃないかと。例えばちょっとおいしいコーヒーを入れましょうとか、そんなことで輪を広げていくようなことも一つ、そこから派生していくのもありとは思っています。そうすれば人が入ってくるということで、3回ぐらいは同じメンバーでやれば輪が広がるということも、この公民館部会に入ったきっかけでちょっとやってみようというところもあったんですね。今、大分、利用者の会が高齢化して、減っているということをお聞きしましたし、体験サークルの時でも、うちは見てくれなくて結構です、ずっと同じ仲間で行っているから新しい人が入らなくてもいいですということで。でも、人数が少なくなれば消滅という形になってくるので、できたら新しい、利用される講座も必要かなと思うのですけどね。増え過ぎて困ることはないですよ。たくさん、予約がとれないぐらいに入っただけだと、非常に公民館も活性化します。活性化も必要だと思う。

**【事務局】**やるテーマを変えて、どんどん新しくしないと新しい人も入ってこないの、それは変えていかないといけない。そこもまた社会教育だと思います。例えが変かもしれませんが、コンビニエンスストアかもしれませんがね。

**【委員】**そうそう。

**【事務局】**要するに、もうからない店舗は自然淘汰されていく。それに合わせて、それ

とはまた別に、もうかるだろう、人が来るだろうというところにはまた新しい店舗をつくって行って、ある一定の数値を保っていくのか、あるいはそこから発展していくのかというところだと思いますので。この事業とか講座とかというのは、一定の人数は集まるけれども、もう10年やったからちょっとやめてみようかとか、やっぱりそういう見方で、また新しいことに変えていくのは当たり前前に社会教育はやっていいと思いますね。ただ、おそらく固定客をつかめば、同じ講座をやっていったとしてもそれなり的人数は来るとは思いますが、仕掛ける側が、やっぱりこれはもう10年やったから、5年やったからと見限って、新しいことをして、また新しい利用者に来てもらう、生々流転していくのが社会教育かなという感じがします。

【委員】ほんとうにコンビニエンスストアの新商品を入れるという感じですよ。

【事務局】その宝庫というのが社会教育のいいところだと思います。みんなで考えて、寒川の、こういう退職された方には何が今必要かと一生懸命考えるわけですよ。こうしたら、あの人たちは元気になってくれるのではないかと、来てくれるのでは、力になってくれるのでは、一緒にやってくれるのでは、ということをおくくしながら考えて、いろいろ仕掛けて、やっぱり受けなかったねとか、やっぱり来たかといつて、先生になったり、呼ばれる側になったりというのが一番の社会教育のパワーだと思います。

【委員】集まってくれば、その中で、私、こんなことができるという、さっきの人材バンクじゃありませんけれども、隠れた人材バンクが、話し合いの中でというか雑談の中で出てくると思うので、そんなきっかけも一つだと思うんですけどね。

【部会長】60歳以上といいますが、60歳でリタイアしている人が今は少ない。

【事務局】フルタイム勤務から若干、例えば週4日勤務とか週3日勤務とかというので、ちょっと自分の時間もつくれる方というのか。

【部会長】65、ちょっとした人は70まで勤めているので、60でリタイアしたという人は、70過ぎたって、実際はみんな、そういうところへ出てこない。それを引っ張り出すというのがなかなか。

【事務局】生きがいとして、仕事を終えた後、何に打ち込むかというところだと思うのですが、何かそういう新しいことは始めたくないよと思うのか。実際にはお一人でのよりか、地域の人とかかわって、何かのきっかけでつながりができて、地域づくりに皆さん、つながってくると公民館の役割としてはいいなと思います。ほんとうに忙しい、忙しいと過ごしてしまつて、いざ時間ができると、何をしたいのかわからないという方もほんとうに多いのかなと思います。

【副部会長】忙しくても時間はとれるんですけどね、やっぱりどうしてもね、理由は違いますから。

【部会長】男の人は70過ぎたら、みんな、どこにいるのかね。みんな、うちの中で、何か聞くと外へ出てこないんだね。

【事務局】皆さんにはお配りしていないのですが、文科省の統計でおもしろい資料がありまして、定年退職後世代、60代前半無業者、職についていない方の平日は、一日テレビを見て過ごす、人と交わらない、という方が結構な割合いらっしゃるそうです。その時間をちょっと外に出て公民館活動を試みようかというところが入り口になれるといいなというところで。

【副部会長】やっぱり一歩外へ出て、元気の源ですからね、出るということは。ウオー

キングでもジョギングでも、歩いているうちに、そういう看板を見つける、掲示板を見つけて、ああ、こういうのがあるとかと。やっぱり外へ出てほしいですね。

【部会長】歩いている人は結構いますね、年寄りがね。

【委員】歩くけれども、やっぱり公民館には行かないという人が多いですよ。

【副部会長】そういうところをまず、きっかけで見て、周りを見ながら、出れば風景も違うから。

【部会長】そこまで、ウォーキングする人じゃないのでしょうか。

【事務局】歩いている方も、例えばさきほどのノルディックウォーキングとか、あとは、何か目的を持って文化財ウォークとか、そういうのに参加すると、他の仲間づくりにもなるのでは。

【副部会長】ノルディックは一人じゃなかなか、ちょっと恥ずかしくないですか。

【事務局】いや、でも、結構多いですよ、ポールを持って歩いている方。

【副部会長】私が見ているのは団体で、みんな、公園、あそこの長い距離を歩くとか、そういうのを見ている。1人でやっている方はいらっしゃる？

【委員】ちょっと宣伝を兼ねているのもありますけどね。小谷からずっと寒川神社に行って、フジスーパーのところへ行って。

【委員】人に目立つところ？

【委員】そうそう。立場もありますけどね。

【事務局】都内でも結構いらっしゃいますね。

【副部会長】都内のほうが、でも、いるかなあ。

【委員】そういうPRも。

【部会長】女の人も、うちの辺りはよく歩いている。何か普通のウォーキングよりかいそうですね。

【委員】そういう何かいろいろなアプローチの仕方はあると思うんですね、きっかけというのは。やっぱり一歩外へ出るきっかけだと思います。

【副部会長】それですよ、絶対、外へ出なければ何も始まらないですからね。テレビはだめです。

【指定管理者】私が前にいた自治体では、男性の料理サークルとか、男性だけのサークルで、料理も含めて何でもいい、やりたいことをやる、野郎会というサークルがありました。囲碁とか男性が主なものはまた別にして、もっとフリーな男性だけのサークルはあるのかと今、聞いたら、どうも寒川はそういうところはないということなので、土地柄なのかもしれません。男性ばかりにする必要はないのですが、男の人がもっとフリーに活動してもらえれば。

【副部長】傘をひっくり返したようなゴルフは何て名前でしたか。

【事務局】ターゲットバードゴルフですか。

【副部長】それ、男性だけでありますよね。

【事務局】男性だけのスポーツ団体は結構あるかもしれないですね。

【指定管理者】公民館サークルというと何かないみたいですね、今。

【副部長】公民館じゃなくても、すごく楽しそうにやっていますね。

【指定管理者】スポーツのほうは多分あるのでしょうかね。

【副部長】同性同士の楽しみというのはまたあるでしょうからね。女性ももちろんそうですね。

【部長】ゴルフ、行かないんだよね。仕事がみんなばらばらだった。

【副部長】そういう外に出るといふのをやってもらわないと。

【事務局】公民館講座をネット配信して、公民館に来なくても家で見て、ユーチューブか何かを流して、そこでおもしろくなったところでパチンと切って、この続きは公民館に来てねとかと言って。ユーチューブとかで流して高校生に来てもらうとか。

【事務局】女性があれだけ公民館の利用が多いので、それと同じぐらい男性が利用していただいてもいいのかなと思います。あとは、意外とスポーツ施設、体育館は夜間利用がすごく多いのですが、公民館の夜はまだまだ余裕があったりする。文化サークルはなかなか夜まで活動するというのはちょっと億劫になるのかな、スポーツをする方は時間を惜しんで、夜になっても体を動かしたいという意欲的な方が結構多いのかなと感じますが。また、何かきっかけがあれば、夜間での活動も増えるとは思いますが。

【委員】絞るとしたら、フェイスブックで中高生とかいうのと、上世代のポスターとかチラシで配るといふ、2つの方法で考えていけば、きっかけづくりにもなるのではないのでしょうかね。

【事務局】QRコードをつけたポスターを作って、それを駅前に張っておけば、高校生あたりがスマホで見ってくれるといいですね。

【事務局】ちょうど次の部会が10月になりますので、その間にフェイスブックの反応はどうなのかなというのと、あとは、リーフレットは、どんな内容を載せたら興味を引いてもらえるかを次回皆様にご提示したいと思っております。

【指定管理者】数日中にはQRコードが、明日ぐらいには多分できると思います。

【事務局】ぜひ見ていただいて、皆さんからご意見とかをいただければ。こんなのを載せたらとか。

【委員】勉強してみます。

【事務局】では、お時間もちょうど3時半。2時間ぐらいになりましたので。

	<p>【部会長】話があっちこっち、なかなかまとまっていないですが。</p> <p>【事務局】このように部会制にさせていただいているのは、会議形式よりも膝を突き合わせて、みんなでいろいろお話、意見が出るようなふうにしようということで始めたという趣旨はありますので、ちょっととりとめもないと部会長さんは言われましたけれども、そういう意味では、事務局ばかりが報告に終始して会議が終わる会議になってはいないのかなという感じがします。今日もたくさん意見をいただき、どうもありがとうございます。</p> <p>5. その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 次回の部会の開催予定について 10月24日(木) 13:30～ 町民センター1階会議室</li> <li>・ 県社会教育委員連絡協議会 総会 6月28日(金) 平本議長、仲田副議長出席予定 研修会 8月26日(月) 江藤委員 出席予定</li> </ul> <p>6. 閉会</p> <p>加藤副部会長</p>
<p>配付資料</p>	<p>資料1 令和元年度寒川町社会教育委員会議 公民館部会 名簿</p> <p>資料2-1 平成30年度公民館利用状況</p> <p>資料2-2 平成30年度公民館講座事業実績</p> <p>資料3 令和元年度町民センター・北部公民館・南部公民館事業計画一覧表</p> <p>資料4 指定管理業務モニタリング票(施設類型Ⅱ)【公民館用】</p> <p>資料5 平成30年度公民館講座における参加者のメディア利用状況</p> <p>資料6 2019.5.10 北部公民館だより・ほっこりぱーく</p> <p>参考資料 生涯学習に関する世論調査説明資料</p>
<p>議事録承認委員及び 議事録確定年月日</p>	<p>・三澤 勇      ・平本正子</p> <p style="text-align: right;">(令和元年7月18日確定)</p>